

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 4 月 26 日～平成 18 年 5 月 9 日)

平成 18 年 5 月 10 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

4 月 29 日 (土)

- ・ 陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS) によるメラピ島 (インドネシア・ジャワ島) の観測について

【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

4 月 29 日に陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS) 搭載の高性能可視近赤外放射計 2 型 (AVNIR-2) 及びフェーズドアンテナ方式 L バンド合成開口レーダ (PALSAR) を用いて、噴火の兆候があると伝えられているインドネシア共和国ジャワ島のメラピ山の観測を行い、観測画像を国際災害チャータに提供した。

5 月 6 日 (土)

- ・ 日本実験棟「きぼう」の打上げ時にスペースシャトルに搭乗する日本人宇宙飛行士の決定について

【文部科学省・独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

米国時間 5 月 5 日に、小坂文部科学大臣と米航空宇宙局 (NASA) グリフィン長官との会談が米国ワシントン D.C.

で行われ、国際宇宙ステーション (ISS) 計画において、我が国が開発している日本実験棟「きぼう」の打上げのうち、1 便目 (船内保管室打上げ) のスペースシャトルに搭乗し、ISS での組立作業を行う日本人宇宙飛行士として土井隆雄宇宙飛行士、また、同ミッションを支援するクルーサポートアストロノート (搭乗者支援宇宙飛行士) として山崎直子宇宙飛行士が決定した。なお、クルーサポートアストロノートに選定されるのは、日本人宇宙飛行士として初めてである。

宇宙開発に関する海外の動向

4 月 26 日 (水)

- ・ スタールト 1、地球観測衛星の打上げに成功

【露・イスラエル】

4 月 25 日 16 時 46 分 (世界標準時)、ロシアは、スバボードヌイ射場からスタールト 1 ロケットを打ち上げ、イスラエルのイメージサット・インターナショナル社の地球観測衛星「エロス B (EROSB)」の軌道投入に成功した。打上げ時の重量は約 290 kg。

- ・ ロシア政府委員会、プロトン M/ブリーズ M の通信衛星打上げ失敗の調査を終了

【露】

4 月 25 日 (現地時間、以下同じ。)、インターナショナル・ロンチ・サービズ社は、ロシア政府委員会が、2 月 28 日にアラブ通信衛星機構の通信衛星「アラブサット (Arabsat-4A)」の軌道投入に失敗したプロトン M/ブリーズ

M ロケットの調査を終了したと発表した。

失敗の原因は、ブリーズ M 上段メインエンジンへの酸化剤供給が予定より早く停止したことによるものであり、これは、異物によりブースター与圧ポンプのノズルが遮断されたためである可能性が高いとしている。飛行再開は、必要な改善処置がとられた後になるとしている。

4月27日（木）

- ・ 長征 4B、地球観測衛星の打上げに成功 【中】
4月26日22時48分（世界標準時）、中国は、太原衛星発射センターから長征 4B ロケットを打ち上げ、地球観測衛星「遥感衛星 1 号」の軌道投入に成功した。打上げ時の重量は約 2.7 t。

4月28日（金）

- ・ デルタ 2、地球観測衛星の打上げに成功 【米、仏】
4月28日10時2分（世界標準時）、ボーイング社は、バンデンバーグ空軍基地からデルタ 2 ロケットを打ち上げ、米国航空宇宙局（NASA）の地球観測衛星「クラウドサット（CloudSat）」（打上げ時の重量（以下同じ）は、約 850 kg。）及び、NASA 及びフランス国立宇宙研究センター（CNES）の地球観測衛星「CALIPSO」（約 500 kg）の同時打上げに成功した。

- ・ NASA、宇宙探査戦略ワークショップを開催 【米、他】
4月25日～28日（現地時間）、米国ワシントン D.C.にて、

米国航空宇宙局（NASA）主催の宇宙探査戦略ワークショップが開催され、我が国を含む 12ヶ国及び欧州宇宙機関（ESA）から約 200 名が参加し、月探査の目的等について議論が行われた。今後、様々な国際会議等での協議を経て、本年 12 月に探査戦略をまとめる予定。

5月4日（木）

- ・ ソユーズ U、軍事衛星の打上げに成功 【露】
5月3日17時38分（世界標準時）、ロシアは、プレセツク射場からソユーズ U ロケットを打ち上げ、ロシアの軍事衛星「コスモス 2420」の軌道投入に成功した。
打上げ時の重量は約 6.7 t。

【議事概要】

その他

「宇宙開発の現状報告」が紹介され、以下の質疑応答があった。

井口：ALOS のデータ全てを公開する必要は無いとの新聞記事があった。これをどう考えるか。

森口：新聞にあったのは「だいち」のデータのこと。…情報公開法、**国の安全保障**⁴といったものを考慮しながら、議論をしていきたいと考えている。

⁴ この言葉が文科省研究開発局長の口からするっと出るとは、隔世の感がある。